



真岡市立
真岡市総合運動公園

・設計 平成22・25年度
 ・面積:基本計画26.6ha、基本設計13.6ha、実施設計6.0ha
 ・住所:栃木県真岡市
 ・事業主:真岡市

「市民一人1スポーツ」

「市民一人1スポーツ」を実践するスポーツ施設の中心地。「自らの健康は自分で守る」市民健康づくりの場として、多くの市民が集い、交流できるふれあいの場の役割を担っている。既存の自然地形や樹林を最大限に生かした。自然との共生及び広域避難場所、防災ヘリの発着場としての機能を備えた。

- ・公園整備が高齢化社会に対応し、地域活性化の一助となるように計画した。
- ・地域環境の維持向上、低炭素社会づくりへの貢献。
- ・健康づくりに向けて日常利用の活性化、歩いてみたくなるしかけ、利用機会の提供拡大、南北敷地の一体化、内外の連携強化を図った。
- ・さりげない魅力が満喫できる空間づくり、地域景観のイメージを継承、農業用水の一部を敷地内に引き込み環境軸を貫入。
- ・建設コストの縮減、維持管理コストの低減、快適性の両立を目指した。
- ・サービス水準、段階整備、施設の兼用供用、配置工夫、造成と建築の連携に取り組んだ。



林間を抜ける水路



動線を集約するペDESTリアンデッキの構成



サウスプラザの全景イメージ



憩いの広場景観イメージ



広場内を抜ける水路